



# 令和5年度泉崎村子ども議会を開催

1月18日（木）村役場議場で令和5年度泉崎村子ども議会を開催しました。

本事業は、未来を担う子どもたちが、泉崎村の身近な地域の問題や将来のまちづくり、教育の問題等を質問したり、意見や提言を發表したりする村議会の模擬体験を行うことで、行政や議会の仕組みを学び、村政・議会活動への関心を高めることを目的として開催され、今年で7回目となります。

村内の小中学生12名の子ども議員の皆さんが、一部は小学生、二部は中学生に分かれて、それぞれ村づくりについて質問し、それに対して担当課長らが丁寧に答弁しました。

最後に箭内村長より全体を通して総評がありました。



なかのめ あこ  
**中野目 愛心議長(一小)**



みどりかわ ゆい  
**緑川 優音議長(二小)**



もとやなぎ しゅん  
**本柳 瞬議長(中学校)**

ふかや りお  
**深谷 凜桜議員(一小)**

## 烏峠を泉崎村の観光地にしたい

烏峠で村おこしをするためにできることを考えましたので、ご検討してください。

- ①烏峠の山門やお稲荷様が古くなっていたり、壊れていたりしているので直す。
- ②烏やキツネをモチーフにした御朱印を考える。
- ③フォトスポットの作成や可愛いお守りを作る。
- ④トイレや手水舎を作り直す。
- ⑤トレイルランニング大会や祭りを開催する。

**答** 1つ目の質問は、施設の所有者が宗教法人となっており、自治体が宗教法人の所有する施設等に関与することはできませんが、文化財として登録すれば自治体として関与することが可能なので、文化財担当課と協議してまいりたいと思います。

2つ目の質問についても、村が関与することは難しいため、宮司さんに伺ったところ現在のところは、計画はしていないが、周りの状況を見据えた上で考えてまいりたいとの回答でした。

3つ目の質問のフォトスポットについては、神社境内以外の場所であれば、設置が可能であり、宮司さんと烏峠関係者等と協議し、フォトスポット設置の必要性について検討してまいりたいと思います。

4つ目の質問については、村の観光公園として事業を行うことは可能ですが、20年前から井戸の水が濁れ、水源がないため、時間及び経費をかけての事業となりますので、重要案件として検討してまいりたいと思います。

5つ目の質問については、自然の中で実施するトレイルランニングは危険性を伴いますが、十分な注意を計らい、計画すれば、とても良い提案だと思いますので、前向きに検討してまいりたいと思います。





### 学校の遊具を増やしてほしい

私は、小学校一年生の頃に泉崎第二小学校に通っていました。第二小学校のグラウンドには、ブランコやタイヤ飛び、滑り台やシーソー等のたくさんの遊具がありました。小学校二年生になり、泉崎第一小学校に転入し、第二小学校と比べてグラウンドにある遊具が少ないということに気付きました。

また、本県の肥満傾向にある子どもの出現率は、5歳から17歳の全年齢で全国平均を上回ったことを知りました。

もっと第一小学校に遊具が増えれば、体を動かす機会が増えて、この問題を解決できると思います。

**答** もともと設置してあった遊具は、古くなったため、利用する皆さんが、けがや事故に遭わないように、撤去したため遊具が減ったと思われます。

新たに設置する場合には、周囲の安全が確保できる広さと距離、利用の状況等を把握するデータを集め、先生方と協力し、検討することが必要です。

村としては、皆さんが、学校で勉強を学ぶだけでなく、体を動かすための環境の整備も重要であると考えておりますので、先生方を交えて、検討していきたいと考えております。

### 久保木 穂天議員(一小)

#### 泉崎村の文化財について

文化財は、「歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な村民の財産」です。泉崎横穴や烏峠稻荷神社、原山古墳から出土したはにわ、仏像や絵画、祭りや樹木等の自然にいたるまで、実にたくさんの種類があります。これら文化財を未来へ守り、泉崎の歴史と伝統的な文化を発展させて行くには、村民の誰もが文化財のことを知ることが大切です。

村の文化財PRのため、史跡の名称を表示する看板の設置をお願いします。

**答** 現在、国指定文化財である泉崎横穴、関和久官衙遺跡は、内容が説明されている看板が設置されており、関和久官衙遺跡の案内看板は令和5年5月に修繕を行いました。また、県指定文化財の観音山磨崖供養塔婆群、原山古墳についても説明の看板等が設置されております。村指定文化財PRのための看板設置につきましては、個人の方が所有されている土地もございますので、土地所有者の方の同意を得て、土地の賃貸借契約、景観形成に合った看板の作成、設置と手続きを進めていかなくてはなりません。

また、村指定文化財で説明看板が設置されている中で、修繕が必要とされている看板等につきましては、令和6年度当初予算に計上し、修繕を行う予定となっておりますので、計画的な修繕や新たに設置を行い、今後も「歴史ある泉崎村」を、県内外の多くの方々へ情報発信を行い、PRにつなげていきたいと考えております。



### 空き家を活用し、学習環境の充実した村に

現在、社会の高齢化が問題視され、高齢の家主が亡くなり、住む人の居なくなった空き家の増加も全国的に問題となっております。泉崎村も同じく学校の近くや家の周りを見ていると誰も住まなくなった家が多く見られます。そこで、私は村内の空き家を活用し、地域の子どもが自由に利用できる図書館のような学習場所を作ることを提案します。

また、ここ数年は夏場の厳しい暑さも問題になっているので、夏場は学習スペースとしてだけでなく、暑さから一時的に避難できるクーリングフィルターとしても活用し、熱中症から村民を守るということでもできるのではないかと思います。空き家を有効活用し、より住みやすい泉崎村を目指してみませんか。

**答** 空き家の増加は、本村においても例外ではなく、多くの空き家が確認されております。対策として、「泉崎村空き家バンク制度」の取り組みを進めております。この制度は、家の「所有者」の方と「泉崎村」と、住宅や土地の売買や仲介を専門に行う「不動産屋」さん等と連携、協力して、空き家を減らすための取り組みを進める制度です。また、空き家を減らすだけでなく、県外の方が泉崎村に住んで働くとなると、地域の活性化にもつながると考えられます。

空き家を活用した学習場所については、管理は誰が行うのか、利用時に子どもたちの安全をどのように確保するのか等の検討、対策を考えた上での活用は可能であると思います。



## 通学路を整備して安心安全な村に

現在、私は児童館を利用して、児童館へ行く途中の道等、泉崎村は細い道が多く、歩道がなくて白線も消えかけてしまっており、歩行者のすぐ近くを車が通り、危険だと感じたことがあります。

そこで、私はスクールゾーンを設けることを提案します。スクールゾーンは学校を中心とした半径500mの通学路を範囲として、登下校時間は車の通行が禁止になり、横断歩道やカーブミラーが整備され、歩道が他の道路より広く設定されます。スクールゾーンがあれば、登下校時には車が通ることはなく、歩道も広いので小さな子どもたちも安全に道路を歩くことができると思います。

これからも交通事故の無い泉崎村を目指して、スクールゾーン導入の検討をよろしくお願いします。

**答** 「学校・幼稚園・保育所等あり」を知らせる警戒標識が第一小学校近くに1か所だけ設置されております。次に「横断歩道」は、各学校半径500m以内では幼稚園周辺で4か所、第一小学校周辺で7か所、第二小学校周辺で4か所、中学校周辺で5か所が整備されている状況となっております。また、村内には道路にカラー塗装を行い、一時停止や通学路、歩道であることを明示し、運転者に注意喚起を行っているところは、村道、県道を含め6か所となっております。

スクールゾーンの指定は学校及び教育委員会の働きかけにより、警察や道路管理者が協議して交通法上の規制をかけることとなるため、協議に時間が掛かることや、地域の道路事情を考慮しながら、一方通行や速度規制、登下校時間帯の通行禁止等、様々な交通規制が組み合わせられることも考えられます。そのため、スクールゾーン以外に地域の道路事情や交通量の状況を考慮しながら、道路管理者等の関係機関と協議を行い、学校周辺の道路にペイントするカラー塗装や道路に直接シートを貼り付ける路面シート等で運転者への注意喚起を行うことも、スクールゾーンに代わる手立ての一つと考えております。

そして、車を運転する我々一人ひとりが、日頃からの安全運転を行い、登下校する皆さんが事故に遭わないように、地域全体で、今後も交通事故ゼロを目指して関係機関と協力し、継続して通学路の環境整備に努めてまいりますと考えております。



## 子どもをみんなで見守る村づくりを目指して

現代社会では、核家族が増え、二小では児童館を利用する人が多くなり、集団下校の時に不審者情報が多発しており、それを心配して家族が車で迎えに来る人もいて、少ない人数で帰るのは不安だと思っております。また、中学校からは自転車で通学するので、部活等で帰宅が遅くなり、暗くなった時が心配です。

そこで、安心して登下校できるようにするために、通学路や狭い路地への防犯カメラの設置を提案します。また、防犯カメラがあることを周知する看板の設置も防犯につながると思います。こう言った「監視の目」があれば声掛け等の事件を防ぎ、子どもたちが安心して登下校できるようになると思います。子どもたちが安心して外を歩くことができる安全な泉崎村にするための一つの意見として、ご検討をよろしくお願いします。

**答** 現在、村で防犯カメラが設置されているところは、泉崎資料館や公民館、役場等の公共施設の一部となっております。その他、村内のコンビニエンスストアやお店、会社等が独自に設置されていると思われま

す。防犯カメラとは異なりますが、村内の各地区の道路沿線を中心に村全体で約1,000か所に防犯灯（街路灯）が設置されております。これは、夜間に歩行者や自転車の方の安全に通行できるためだけでなく、犯罪を未然に防ぐための役割も担っていると考えております。

現在、地域の方にご協力をいただいている「見守隊」や「子ども110番の家」も、皆さんが安心安全に下校できるよう見守りをいただいていることも、防犯のための取り組みの一つと考えております。

また、防犯カメラの設置につきましては、本村においても近隣の市町村の取り組み等を参考にしながら、検討したいと考えております。

## 伊藤 妃由議員(中学校)

### 村内の美化活動とゴミのポイ捨ての予防について

中学校では、年2回、全校生で村内に出てゴミを拾う「全校ボランティア活動」を行っています。村内の環境美化のために、どの生徒も積極的に取り組んでいます。そこで私たちは「捨てられたゴミを拾うことも大切だが、ポイ捨ての予防をすることも大切ではないか」と考えるようになりました。生徒会でもできることを考えたいと思いますが、村議会でも対策を講じていただけないでしょうか。

**答** 「ポイ捨て問題」は、泉崎村に限ったことでなく、全国的に同じような傾向があると思われます。

村での予防施策として、児童・生徒から応募された標語のポイ捨て防止啓発看板の設置や未然防止を図るため、毎月村内パトロール等を実施しております。また、村民の皆さんからの情報提供や防災無線での啓発等にも努めております。生徒会でも予防策の提案がありましたら、実現可能かどうか検討させていただきたいと思います。

このように村も、中学生の皆さんと協力し、環境美化に取り組んでまいりますので、ゴミ拾いを継続していただき、「ゴミのポイ捨てがない村」を目指していきたくと考えております。



## 大野 結夢議員(中学校)

### 平日の学習支援について

私たちの学校には、特別な事情があって、学校に来ることのできない友達もいます。そのような友達が昼間、安心して勉強できる環境を用意してはいかがでしょうか。学習が不安で学校から足が遠のいてしまった生徒や対人関係で不安があって教室に入れなくなってしまった生徒が、少ない人数で自分のペースに合わせて課題の克服ができる環境があれば、前向きな一歩を踏み出すことができると思います。

**答** 教育委員会では、学習支援環境を整えるために大きく2つの取り組みをしております。

1つ目は、相談室の充実です。3年前より、特別な事情がある児童生徒の皆さんを個別に学習支援をする先生を配置しています。学校だけではなく、希望に応じて公民館や図書館でも学習支援をすることができます。令和6年度は、この環境を更に整えるために先生の人数や日数、支援の時間を増やすことを計画しています。

2つ目は、直接児童生徒に関わる学校への支援です。研修会の講師に大学等の専門の方に依頼しています。

特別な事情がある児童生徒が「安心して勉強をできる環境づくり」は「寄り添って喜びを分かち合える仲間を増やすこと」と考えております。良き仲間を増やせるよう、教育委員会は学校や児童生徒の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

## 田崎 涼雅議員(中学校)

### さつき公園の管理・維持について

泉崎村が他の地域に誇れるものの一つに、さつき公園があると考えています。さつき公園を中心として運動施設が充実していることは泉崎村の強みだと思います。また、それらの運動施設を使用するために、他県からの遠征・合宿での訪問が継続的に期待できることは、観光業にとっても非常に良いことだと思いますし、活性化のためにPRしたいと思っています。

この素晴らしいさつき公園の運動施設を管理・維持するために年間いくらかかっているのでしょうか。採算は取れているのでしょうか。また、さつき公園と同じくらいの施設を有する市町村と比べて、それは多いのでしょうか。

**答** 年間の維持管理費について、令和4年度実績ですが、施設の使用料として村が現金でお預かりしました金額は1年間で1,508,980円でした。

こちらの採算は、取れておりません。公共施設は利益を求めて高い利用料を設定することはできません。県内外の多くの方にPRを行い、泉崎村の施設を利用していただく等、村の中でお金を使っていただくことで、宿泊施設や村内のお店の活性化につながり、村全体の活性化につながると考えております。

また、他の市町村の利用者数や利用料等は、把握しておりません。福島県内をみても、泉崎村のように、運動公園として多くの施設が1か所に整備されている市町村はないと思います。



## 箭内村長より全体を通してお話がありました。

### 烏峠を泉崎村の観光地にしたい

施設の所有者が宗教法人であることから、行政として関わるのが制限されているため、実施していくことは難しい状況ですが、関係機関と協議をしまいたいと考えております。また、トレイルランニング大会等の実施につきましては、十分な安全が確保できるような計画を立て、実施に向けて検討をしまいたいと考えております。

### 泉崎村の文化財について

村内には国指定、県指定、村指定の文化財が多数存在し、現在、設置されている看板で老朽化したものについては、順次取り換えや修繕を検討していきたいと思います。

また、未設置のものは、土地の所有者等の許可も必要となることから、手続きを踏みながらどのような看板が適当なのか協議をして、設置の検討を行っていきたいと思っています。

### 通学路を整備して安心安全な村に

現在、村としても取り組んでいる道路のカラー舗装等による運転者への注意喚起も有効な手段と考えております。どのような手段を講じても、運転者がそれを守らなければ意味をなさないので、運転者への啓発活動も力を入れなければなりません。それと同時に、道路を歩く皆さんも十分注意し、事故に遭わないような行動をとっていただきますようお願いいたします。

### 村内の美化活動とゴミのポイ捨ての予防について

ゴミのポイ捨ては全国どこの自治体でも頭を痛めている問題かと思えます。ポイ捨てをするような人が近くにいたら、注意できるような大人になっていただきたいと期待しております。

今後も皆さんの「ボランティア活動」を続けていただきたいと思えます。よろしく申し上げます。

### さつき公園の管理・維持について

村では現在、「泉崎村観光誘客支援金交付事業」として、カントリーヴィレッジの宿泊を斡旋された旅行会社等に謝礼金を支払うといった事業を行っています。

さつき公園施設も建設から30年ほど経過していますが、皆さんが気持ちよく使えるよう維持管理していきたいと思えます。

### 学校の遊具を増やしてほしい

福島県の子どもたちについて、肥満傾向で全国平均を上回っているといった指摘であり、遊具を増やし活用することにより肥満防止になるのではないかとといった提案がありますが、安全の確認、確保が優先されるということから手順を踏んで検討をしまいたいと思えます。

### 空き家を活用し、学習環境の充実した村に

空き家を活用し、地域の子どもが勉強スペースとして活用できないかという発想は素晴らしいことと思えますが、空き家であっても所有者がいることと、どのようにして維持管理するか等の課題があります。このような案件が実施可能となる場合は、検討させていただきます。

### 子どもをみんなで見守る村づくりを目指して

抑止力の一つとなる防犯灯が必要と感じる箇所がありましたら、情報提供をお願いします。

また、防犯カメラの設置につきましても課題をクリアしながら他町村の取り組み等を参考にし、検討をしまいたいと考えております。

### 平日の学習支援について

学校と家庭と教育委員会が協力し合い、学習支援環境を整えていきたいと考えております。また、これらの事業を進めていくうえで、多くの専門講師の方々から協力をいただき、児童生徒に添った支援に努めていきたいと思えますので、皆さんも仲間として安心できる学習環境作りに協力いただけるようお願いいたします。

### 議会全体を通して

子ども議員の皆さんから質問及び提案をいただきましたが、いずれも的を射た素晴らしい内容でありました。

ご指摘を受けた質問に対しては、内容によって時間を掛けずに対応できる案件、または、対応するにも時間を要する案件や、今後の参考にさせていただく案件等に分かれてくるかと思えます。それぞれ吟味させていただいて、対応したいと思えます。



Shirakawa  
Soubi

お客様の喜び

## ハウスクリーニング 白河装美

〒969-0103 泉崎村大字北平山字下原25-1  
TEL&FAX 0248-21-5143

信頼と・施工実績No.1

太陽光発電設備・オール電化設備

## 有限 齋藤 電工 会社

〒969-0103 泉崎村北平山字中島130-1  
TEL 53-2914 FAX 53-4566